

(共)社会とボランティア S
 特殊講義(自由選択) (社会とVT) T

11039

授業開講期間 前期 単位数 2 配当回生 時間割等参照
 担当教員 岡田 まり、小澤 亘

講義内容・テーマ

本講義は、ボランティアコーディネーター養成プログラムの講義科目であり、「ボランティア情報・調査演習」と連動しながら行われる。講義では、ボランティア活動の成り立ちや今日の動向、NPO法人などについて理解を深めるとともに、ボランティア活動のもつ固有の社会的な意義などについて認識を深める。また、国や自治体などの政策動向とともに、市民社会の形成とボランティア活動の関係についての理解を深めることを大切に、行政の補完や肩代わりではない、ボランティア活動の固有性について確認する。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

ボランティアコーディネーター養成プログラム運営委員会による選考の合格者のみが受講可。なお、プログラム受講生は、他のプログラム科目である「ボランティアマネジメント論」、「ボランティア活動支援演習」、および「ボランティアインターンシップ」を全て今年度、履修しなければならない。

評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
レポート	30 %	
日常点(小テスト)	70 %	

レポートと日常点を総合的に評価する。

講義スケジュール

内 容	キーワード
総括的導入講義を実施します。詳細は別途掲示等で案内します。	
ボランティア論 : イントロダクション	
ボランティア論 : ボランティアの意義と役割	
ボランティア論 : ボランティアと社会	
ボランティア論 : 国際比較	
ボランティアコーディネーター論 : 歴史	
ボランティアコーディネーター論 : 機能	
ボランティアコーディネータースキル : 個人	
ボランティアコーディネータースキル : グループ	
ボランティアコーディネータースキル : 組織	
ボランティアコーディネータースキル : 情報	
ボランティアコーディネーターの立場 : 需給調整・仲介型	
ボランティアコーディネーターの立場 : 受け入れ型	
ボランティアコーディネーターの立場 : 養成・送り出し型	
まとめ 受講生の学習ニーズおよびゲストスピーカーの都合等に合わせて予定を変更する可能性がある。	

テキスト

特になし

参考書

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

その他

(共) ボランティアマネジメント論 S
 特殊講義(自由選択) (VTマネジメントT)

11060

授業開講期間 後期 単位数 2 配当回生 時間割等参照
 担当教員 岡田 まり、石倉 康次

講義内容・テーマ

本講義は、ボランティアコーディネーター養成プログラムの講義科目であり、「ボランティア活動支援演習」と連動しながら行われる。講義では、ボランティア活動を組織し、調整、推進していくうえで必要なコーディネーターの役割や、倫理などについて理解を深める。ボランティア養成講座などの企画や運営と展開のあり方、ボランティアの登録と管理についての具体的な方法、ボランティア活動の相談から斡旋、評価までの需給調整の対処方法、ボランティア活動を推進していくうえでの骨格ともいべき社会資源の把握と活動、開発などの基本的な技術や考え方について理解を深める。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

ボランティアコーディネーター養成プログラム運営委員会による選考の合格者のみが受講可。なお、プログラム受講生は、他のプログラム科目である「ボランティアマネジメント論」、「ボランティア情報・調査演習」、「ボランティア活動支援演習」、および「ボランティアインターンシップ」を全て今年度、履修しなければならない。

評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
レポート	30 %	
日常点(小テスト)	70 %	

レポートと日常点を総合的に評価する。

講義スケジュール

内 容 キーワード

総括的導入講義を実施します。詳細は別途掲示等で案内します。

後期の学習課題と進め方: インターンシップを振り返って

ボランティアコーディネーター再考: 前期とインターンシップをとおして

レポート作成の方法

ボランティアマネジメント : ニーズ把握

ボランティアマネジメント : 計画

ボランティアマネジメント : 評価とフィードバック

ボランティアマネジメント : 人材養成・募集

ボランティアマネジメント : グループ・組織運営

ボランティアコーディネーターの課題

ボランティアコーディネーターの課題

ボランティアコーディネーターの課題

全体発表会

全体発表会

全体発表会 受講生の学習ニーズおよびゲストスピーカーの都合等に合わせて予定を変更する可能性がある。

テキスト

特になし

参考書

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

その他

(共) ボランティア情報・調査演習 SA
 特殊講義(自由選択) (VT情報調査演習 TA)

15587

授業開講期間 前期 単位数 2 配当回生 時間割等参照
 担当教員 南 多恵子

講義内容・テーマ

本演習は、ボランティアコーディネーター養成プログラムの演習科目であり、「社会とボランティア」「ボランティアインターンシップ」と連動しながら行われる。ボランティアコーディネーターの業務においては、常に様々な情報をもつことが不可欠であり、ボランティア活動に関わるあらゆる情報の収集と管理、提供の方法について習熟する。また、様々な福祉課題についての調査活動を通して、実態把握と情報の発信、提供者としてのコーディネーターの役割について理解を深め、ボランティア活動の推進に行かせる実践的演習とする。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

ボランティアコーディネーター養成プログラム運営委員会による選考の合格者のみが受講可。なお、プログラム受講生は、他のプログラム科目である「社会とボランティア」、「ボランティアマネジメント論」、「ボランティア活動支援演習」、および「ボランティアインターンシップ」を全て今年度、履修しなければならない。

評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
レポート	50 %	
日常点(小テスト)	50 %	

レポートと日常点を総合的に評価する。

講義スケジュール

内 容	キーワード
総括的導入講義を実施します。詳細は別途掲示等で案内します。	
インターンシップの目的と意義	
インターンシップの実際: ゲストスピーカー(プログラム修了生)	
情報収集・提供、調査の方法	
情報収集・提供、調査の方法	
第6回～第8回 インターン先で必要な社会スキルのトレーニング	
第9回～第12回 インターン先についての調査発表	
第13回～第14回 共通課題についてのディスカッション	
まとめ	

テキスト

特になし

参考書

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

その他

(共) ボランティア情報・調査演習 SB
 特殊講義(自由選択) (VT情報調査演習 TB)

15588

授業開講期間 前期 単位数 2 配当回生 時間割等参照
 担当教員 桜井 政成

講義内容・テーマ

本演習は、ボランティアコーディネーター養成プログラムの演習科目であり、「社会とボランティア」「ボランティアインターンシップ」と連動しながら行われる。ボランティアコーディネーターの業務においては、常に様々な情報をもつことが不可欠であり、ボランティア活動に関わるあらゆる情報の収集と管理、提供の方法について習熟する。また、様々な福祉課題についての調査活動を通して、実態把握と情報の発信、提供者としてのコーディネーターの役割について理解を深め、ボランティア活動の推進に行かせる実践的演習とする。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

ボランティアコーディネーター養成プログラム運営委員会による選考の合格者のみが受講可。なお、プログラム受講生は、他のプログラム科目である「社会とボランティア」、「ボランティアマネジメント論」、「ボランティア活動支援演習」、および「ボランティアインターンシップ」を全て今年度、履修しなければならない。

評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
レポート	50 %	
日常点(小テスト)	50 %	

レポートと日常点を総合的に評価する。

講義スケジュール

内 容	キーワード
総括的導入講義を実施します。詳細は別途掲示等で案内します。	
インターンシップの目的と意義	
インターンシップの実際: ゲストスピーカー(プログラム修了生)	
情報収集・提供、調査の方法	
情報収集・提供、調査の方法	
第6回～第8回 インターン先で必要な社会スキルのトレーニング	
第9回～第12回 インターン先についての調査発表	
第13回～第14回 共通課題についてのディスカッション	
まとめ	

テキスト

特になし

参考書

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

その他

(共) ボランティア情報・調査演習 SC
 特殊講義(自由選択) (VT情報調査演習 TC)

15589

授業開講期間 前期 単位数 2 配当回生 時間割等参照
 担当教員 大場 孝弘

講義内容・テーマ

本演習は、ボランティアコーディネーター養成プログラムの演習科目であり、「社会とボランティア」「ボランティアインターンシップ」と連動しながら行われる。ボランティアコーディネーターの業務においては、常に様々な情報をもつことが不可欠であり、ボランティア活動に関わるあらゆる情報の収集と管理、提供の方法について習熟する。また、様々な福祉課題についての調査活動を通して、実態把握と情報の発信、提供者としてのコーディネーターの役割について理解を深め、ボランティア活動の推進に行かせる実践的演習とする。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

ボランティアコーディネーター養成プログラム運営委員会による選考の合格者のみが受講可。なお、プログラム受講生は、他のプログラム科目である「社会とボランティア」、「ボランティアマネジメント論」、「ボランティア活動支援演習」、および「ボランティアインターンシップ」を全て今年度、履修しなければならない。

評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
レポート	50 %	
日常点(小テスト)	50 %	

レポートと日常点を総合的に評価する。

講義スケジュール

内 容	キーワード
総括的導入講義を実施します。詳細は別途掲示等で案内します。	
インターンシップの目的と意義	
インターンシップの実際: ゲストスピーカー(プログラム修了生)	
情報収集・提供、調査の方法	
情報収集・提供、調査の方法	
第6回～第8回 インターン先で必要な社会スキルのトレーニング	
第9回～第12回 インターン先についての調査発表	
第13回～第14回 共通課題についてのディスカッション	
まとめ	

テキスト

特になし

参考書

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

その他

(共) ボランティア活動支援演習 SA
 特殊講義(自由選択) (VT活動支援演習 TA)

15590

授業開講期間 後期 単位数 2 配当回生 時間割等参照
 担当教員 南 多恵子

講義内容・テーマ

本演習は、ボランティアコーディネーター養成プログラムの演習科目であり、「ボランティアマネジメント論」と連動しながら行われる。ボランティア、ボランティアグループ、ボランティア推進機関などの主な支援ニーズの把握や連絡調整、ボランティア活動に対する支援団体の情報や活用の具体的な方法、地域や市民の生活実態やニーズについての理解を深める。ボランティアグループなどとの意見交換やミーティング、インターンシップなどでの経験をもとにした事例研究などを通じ、ボランティアコーディネーターとしての実践的な力量を身に着けることを目的とする。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

ボランティアコーディネーター養成プログラム運営委員会による選考の合格者のみが受講可。なお、プログラム受講生は、他のプログラム科目である「社会とボランティア論」、「ボランティア情報・調査演習」、「ボランティアマネジメント論」、および「ボランティアインターンシップ」を全て今年度、履修しなければならない。

評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
レポート	50 %	
日常点(小テスト)	50 %	

レポートと日常点を総合的に評価する。

講義スケジュール

内 容	キーワード
総括的導入講義を実施します。詳細は別途掲示等で案内します。	
インターンシップを振り返って	
第3回～第6回 インターンシップについての発表	
第6回～第8回 共通課題についての演習	
第9回～第12回 修了レポートおよび全体発表会の準備	
第13回～第15回 全体発表会	

テキスト

特になし

参考書

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

その他

(共) ボランティア活動支援演習 SB
 特殊講義(自由選択) (VT活動支援演習 TB)

15591

授業開講期間 後期 単位数 2 配当回生 時間割等参照
 担当教員 桜井 政成

講義内容・テーマ

本演習は、ボランティアコーディネーター養成プログラムの演習科目であり、「ボランティアマネジメント論」と連動しながら行われる。ボランティア、ボランティアグループ、ボランティア推進機関などの主な支援ニーズの把握や連絡調整、ボランティア活動に対する支援団体の情報や活用の具体的な方法、地域や市民の生活実態やニーズについての理解を深める。ボランティアグループなどとの意見交換やミーティング、インターンシップなどでの経験をもとにした事例研究などを通じ、ボランティアコーディネーターとしての実践的な力量を身に着けることを目的とする。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

ボランティアコーディネーター養成プログラム運営委員会による選考の合格者のみが受講可。なお、プログラム受講生は、他のプログラム科目である「社会とボランティア論」、「ボランティア情報・調査演習」、「ボランティアマネジメント論」、および「ボランティアインターンシップ」を全て今年度、履修しなければならない。

評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
レポート	50 %	
日常点(小テスト)	50 %	

レポートと日常点を総合的に評価する。

講義スケジュール

内 容	キーワード
総括的導入講義を実施します。詳細は別途掲示等で案内します。	
インターンシップを振り返って	
第3回～第6回 インターンシップについての発表	
第6回～第8回 共通課題についての演習	
第9回～第12回 修了レポートおよび全体発表会の準備	
第13回～第15回 全体発表会	

テキスト

特になし

参考書

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

その他

(共) ボランティア活動支援演習 SC
 特殊講義(自由選択) (VT活動支援演習 TC)

15592

授業開講期間 後期 単位数 2 配当回生 時間割等参照
 担当教員 大場 孝弘

講義内容・テーマ

本演習は、ボランティアコーディネーター養成プログラムの演習科目であり、「ボランティアマネジメント論」と連動しながら行われる。ボランティア、ボランティアグループ、ボランティア推進機関などの主な支援ニーズの把握や連絡調整、ボランティア活動に対する支援団体の情報や活用の具体的な方法、地域や市民の生活実態やニーズについての理解を深める。ボランティアグループなどとの意見交換やミーティング、インターンシップなどでの経験をもとにした事例研究などを通じ、ボランティアコーディネーターとしての実践的な力量を身に着けることを目的とする。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

ボランティアコーディネーター養成プログラム運営委員会による選考の合格者のみが受講可。なお、プログラム受講生は、他のプログラム科目である「社会とボランティア論」、「ボランティア情報・調査演習」、「ボランティアマネジメント論」、および「ボランティアインターンシップ」を全て今年度、履修しなければならない。

評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
レポート	50 %	
日常点(小テスト)	50 %	

レポートと日常点を総合的に評価する。

講義スケジュール

内 容	キーワード
総括的導入講義を実施します。詳細は別途掲示等で案内します。	
インターンシップを振り返って	
第3回～第6回 インターンシップについての発表	
第6回～第8回 共通課題についての演習	
第9回～第12回 修了レポートおよび全体発表会の準備	
第13回～第15回 全体発表会	

テキスト

特になし

参考書

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

その他

(共) ボランティアインターンシップ S
 特殊講義(自由選択) (VTインターンシ T)

20135

授業開講期間 夏集中 単位数 2 配当回生 時間割等参照
 担当教員 岡田 まり、石倉 康次

講義内容・テーマ

このインターンシップは、ボランティアコーディネーター養成プログラムの一部で、プログラムの講義や演習と連動しながら行われる。受講生は、自然環境保全や地域福祉、国際交流、サポートセンターなど様々な領域において、指導を受けながら実際にボランティアコーディネーションに携わったり、活動に参加しながらボランティアコーディネーションのあり方や課題を探ることを通して、ボランティアコーディネーターに求められる知識や技能を習得できるよう目指すものとする。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

ボランティアコーディネーター養成プログラム運営委員会による選考に合格しており、「社会とボランティア」と「ボランティア情報・調査演習」を履修済みであること。また、「ボランティアマネジメント論」および「ボランティア活動支援演習」も併せて今年度中に履修しなければならない。

評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
レポート	20 %	
日常点(小テスト)	80 %	

講義スケジュール

内容	キーワード
総括的導入講義を実施します。詳細は別途掲示等で案内します。 詳細については担当者より説明する。	

テキスト

参考書

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

その他